

令和3年度 第2回 学校評価（児童・職員・保護者） 2月実施

実施方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Googleフォームで回答（児童・職員・保護者）</li> <li>・児童 844名中 569名が回答。</li> <li>・職員は回答該当者39名中 28名が回答。</li> <li>・保護者は650世帯中 140名のみ回答</li> </ul>	
比較表示記号など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度9月と2月の比較及び児童・職員・保護者の回答比較で分析。</li> <li>・○部分は3者の意識・回答状況の差が見られる項目。教師回答は100%に近いが、児童回答との開きが見られる項目など。</li> <li>・番号の○は、100%を目指したい項目（本文である学習指導・魅力ある学校づくり・自己肯定感の育成等）。</li> </ul>	
分析	児童	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全項目において肯定的な解答が増えている。</li> <li>○No.8「いじめはいけない」・No.17「自分には良いところがある」の項目で10%程度の伸び。</li> <li>▼No.2「読書」・No.15「ノーゲーム」の項目は前回同様低い。</li> <li>▼No.5・6「自分の考えを書く・発表する」項目は70%台で伸び悩み。</li> </ul>
	職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導・道徳的な指導項目で100%の解答が増えた。</li> <li>○本校の特色である「はあと作戦」に関する項目は100%近い回答。</li> </ul>
	保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>○No.7～No.12にけけての「家庭学習」「いじめはいけない」「学習のきまり」「安全指導」「生活リズム」「あいさつ」に関する項目は、肯定的回答が多い。</li> <li>▼全体的に手厳しい回答で、No.1・2・4の学習指導に関する項目やNo.16「魅力ある学校経営」の項目で下降が見られる。</li> </ul>
考察・対応策	<p><b>【考察】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○昨年度との違いはアンケートが紙からchromebookでの回答に変わり、保護者の回答の負担や、集計の負担は軽減された。</li> <li>▼電子回答による保護者アンケートは、誰が回答したか分かりにくいこともあり、前回より更に回答者が減っている。</li> <li>▼コロナ渦の影響・学級閉鎖等の影響もあり、児童の回答数も減っている。</li> </ul> <p><b>【対応策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□「魅力ある学校づくり」「楽しい学校づくり」を実現させるために、特に学習面での「学び・成長を実感」させ、「自己肯定感」の育成を図る。</li> <li>□生徒指導三機能を働かせた授業づくり、児童の居場所のある学習指導で学習意欲を高めるためには、組織的な学力向上推進の取り組み、校内研修での学びを各教師の授業に反映させ、お互いに学び合い高め合う組織づくりに努める。</li> <li>□単元テストや諸検査の結果をもとに、PDCAのある指導方法の工夫改善、学級間差のない学年の足並みを揃えた取り組みで、全児童が自分の成長を実感できるような教育実践を行う。</li> </ul>	